

# 序

本書は、島根県教育委員会が島根県土木部から依頼を受けて、平成 23 年度から平成 24 年度に実施した国道 431 号道路改築事業（東林木バイパス）予定地内に所在する下澤遺跡の発掘調査の成果をまとめたものです。

下澤遺跡は出雲市矢尾町に所在し、北山山系南麓に立地する古墳時代から奈良時代の遺跡です。周辺には、弥生時代の四隅突出型墳丘墓や銅鐸片、それに古代の神社跡と推定される遺構が発見された青木遺跡や、他地域と活発な交流を物語る遺物が数多く発見された弥生時代の大規模集落跡である山持遺跡、県内最古級の前方後円墳である大寺 1 号墳、戦国時代の尼子氏と毛利氏の合戦の舞台となった鳶ヶ巣城跡など各時代の重要な遺跡が位置しています。

下澤遺跡の調査では古墳時代末から奈良時代の水田跡が確認されました。水田は度重なる土石流によって被害を受けながらも復旧されており、調査によって自然災害に対する先人たちの苦闘の跡が明らかとなりました。今回の調査を含め本事業に伴う調査の成果は島根県の歴史を明らかにするうえで欠くことのできない貴重なものであり、本書が地域の歴史と埋蔵文化財に対する理解と関心を深める一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査と報告書の作成にあたり御協力いただきました地元住民の皆様や、出雲市並びに島根県土木部をはじめとする関係機関の皆様に厚くお礼を申し上げます。

平成 25 年 3 月

島根県教育委員会  
教育長 今井康雄



## 例言

1. 本書は、島根県土木部道路建設課から依頼を受けて、島根県教育委員会が平成 23、24 年度に実施した国道 431 号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う埋蔵文化財発掘調査の報告書である。
2. 発掘調査地は下記のとおりである。  
出雲市矢尾町 504 外 下澤遺跡
3. 調査組織は次のとおりである。  
調査主体 島根県教育委員会  
平成 23 年度 発掘調査  
[事務局] 川原和人（島根県埋蔵文化財調査センター所長）、三島伸（同総務グループ課長）、  
[調査担当者] 熱田貴保（同調査第 3 グループ課長）、松山智弘（同調査補助員）、井谷朋子（同）  
平成 24 年度 報告書作成  
[事務局] 廣江耕史（島根県埋蔵文化財調査センター所長）、三島伸（同総務グループ課長）  
[調査担当者] 熱田貴保（同管理グループ課長）、井谷朋子（同調査第 3 グループ調査補助員）
4. 現地調査及び整理作業において、以下の方々に調査指導いただいた。  
田中義昭（元島根県文化財保護審議会委員）、花谷浩（出雲市文化環境部学芸調整官）
5. 挿図中の北は、測量法による第Ⅲ平面直角座標系 X 軸方向を指し、座標系の X Y 座標は世界測地系による。また、レベル高は海拔高を示す。
6. 本書で使用した第 2 図は国土地理院発行の 1/25,000 地図、第 4～6 図は出雲市都市計画平面図を使用して作成したものである。また図版 1～3 で使用した空中写真は国土地理院所蔵の写真を使用し、整理番号等は図版目次に記載した。
7. 本調査に伴って行った自然科学的分析は次の機関に委託して実施し、その成果は第 5 章にまとめて掲載した。  
花粉分析、樹種同定（文化財調査コンサルタント株式会社）
8. 本調査に伴って、出土木製品の保存処理を次の機関に委託した。  
平成 24 年度 財団法人大阪市博物館協会
9. 本書に掲載した遺構・遺物の写真は熱田が行い、実測図の作成は調査員、調査補助員が行った。遺構・遺物の浄書は調査補助員が行った。
10. 本書の執筆・編集は、熱田が行った。
11. 本書の編集にあたっては DTP 方式を採用し、Adobe 社の PhotoshopCS5、IllustratorCS5 を用いてトレース等を行い、InDesignCS4 で編集を行った。
12. 注は各章ごとに連番を振り当該頁下に配置した。参考文献は各章末にまとめて示した。挿図及び表の番号は、第 5 章を除く各章は全体の通し番号により表示し、第 5 章については各節ごとに番号を振っている。
13. 本書に掲載した遺物、実測図及び写真などの資料は、島根県教育庁埋蔵文化財調査センターで保管している。

# 凡例

1. 遺物実測図の断面は、土師器を白ヌキ、須恵器を黒塗り、石製品は斜線で示している。木製品については年輪方向を模式的に記入している。
2. 遺物表面の状態は、下記の方法で実測図に表現した。



赤色塗彩



黒色ガラス滓



被熱

3. 本書で用いた土器の分類及び編年観は下記の論文、報告書に依拠している。

(1) 弥生土器・土師器

松本岩雄 1992 「出雲・隠岐地域」『弥生土器の様式と編年』山陽・山陰編 木耳社

鹿島町教育委員会 1992 『講武地区県営圃場整備事業発掘調査報告書 5 南講武草田遺跡』

(2) 須恵器

田辺昭三 1981 『須恵器大成』角川書店

大谷晃二 1994 「出雲地域の須恵器の編年と地域色」『島根考古学会誌』第 11 集

岡田裕之・土器検討グループ 2010 「出雲地域における古代須恵器の編年」『出雲国の形成と国府成立の研究』島根県古代文化センター

# 本文目次

第1章 調査に至る経緯と経過	1
第2章 下澤遺跡の位置と歴史的環境	2
第3章 調査の概要と経過	7
第1節 調査の方法	
第2節 調査区	
第3節 基本層序	
第4節 調査経過	
第4章 水田跡の調査	11
第1節 土層堆積状況	
第2節 上層水田跡	
第3節 中層水田跡	
第4節 下層水田跡	
第5章 自然科学分析	27
第1節 水田跡の自然科学分析	
第2節 出土木製品の樹種同定	
第6章 総括	45

## 挿図目次

第 1 図	下澤遺跡の位置	2
第 2 図	下澤遺跡の位置と周辺の主な遺跡	3
第 3 図	東林木バイパス工事に伴って調査された遺跡	4
第 4 図	調査区地区割り図	7
第 5 図	遺跡の位置と調査区配置図	8
第 6 図	土層模式図	9
第 7 図	調査区東壁土層図 (1)	12
第 8 図	調査区東壁土層図 (2)	13
第 9 図	調査区西壁土層図	14
第 10 図	上層水田跡実測図	15
第 11 図	上層水田跡畦畔基礎実測図	16
第 12 図	I 層出土遺物実測図 (1)	17
第 13 図	I 層出土遺物実測図 (2)	18
第 14 図	II 層出土遺物実測図	19
第 15 図	中層水田跡実測図	20
第 16 図	中層水田跡杭列実測図	21
第 17 図	III 層出土遺物実測図	22
第 18 図	IV 層出土遺物実測図	22
第 19 図	下層水田跡実測図	23
第 20 図	V 層出土遺物実測図	24
第 21 図	V、VI 層出土遺物実測図	25

## 表目次

第 1 表	出土土器観察表	47
第 2 表	出土木製品観察表	50
第 3 表	出土石製品観察表	50

## 巻頭図版目次

巻頭図版	下澤遺跡 下層水田跡全景 (南から)
------	--------------------

## 写真図版目次

図版 1	1. 遺跡周辺空中写真 (2004 年 4 月 29 日) MCG-04-04X-4-6
	2. 遺跡周辺空中写真 (1991 年 4 月 16 日) MCG-91-01X-5-6
図版 2	1. 遺跡周辺空中写真 (1975 年 5 月 7 日) MCG-75-03X-8-7
	2. 遺跡周辺空中写真 (1962 年 6 月 20 日) MCG-62-03X-C5-5
図版 3	1. 遺跡周辺空中写真 (1947 年 10 月 3 日) UR5143-CA-34
	2. 遺跡周辺空中写真 (1947 年 10 月 3 日) UR5143-CA-35
図版 4	1. 遺跡遠景 (南東から)
	2. 調査地と客垣谷 (南から)

図版 5	調査区東壁土層断面
図版 6	1. 調査区東壁噴砂 (2.0 ~ 2.2 ライン付近)
	2. 水田跡土層断面 (東壁 1.7 ~ 1.9 ライン付近)
図版 7	1. 水田跡土層断面 (東壁 2.1 ~ 2.3 ライン付近)
	2. 水田跡土層断面 (東壁 3.7 ~ 3.9 ライン付近)
図版 8	調査区西壁土層断面
図版 9	1. 水田跡土層断面 (西壁 1.6 ~ 1.9 ライン付近)
	2. 水田跡土層断面 (西壁 1.6 ~ 1.8 ライン付近)
図版 10	1. 水田跡土層断面 (西壁 2.4 ~ 2.6 ライン付近)
	2. 水田跡土層断面 (西壁 3.5 ~ 3.7 ライン付近)
図版 11	上層水田跡西側 (南から)
図版 12	1. 上層水田跡 (区画 a、b 南西から)
	2. 上層水田跡 (区画 a、b 北東から)
図版 13	1. 上層水田跡畦畔 (区画 a ~ d 南西から)
	2. 上層水田跡畦畔 (区画 c、d 付近 北から)
	3. 上層水田跡畦畔 (区画 a、b 付近 北東から)
図版 14	上層水田跡東側 (南から)
図版 15	1. 上層水田跡 (区画 i ~ j 南東から)
	2. 上層水田跡 (区画 i ~ j 南西から)
図版 16	1. 上層水田跡区画 j (南東から)
	2. 上層水田跡水口 2 (南東から)
	3. 上層水田跡足跡検出状況 (区画 j)
図版 17	1. 上層水田跡畦畔基礎 2 検出 (南西から)
	2. 上層水田跡畦畔基礎 2 (北西から)
図版 18	1. 上層水田跡畦畔基礎 1 (北東から)
	2. 上層水田跡木製品出土状況 (14-14)
図版 19	1. 中層水田跡 (東から)
	2. 中層水田跡杭列土層断面
	3. 中層水田跡木製品出土状況 (18-3)
図版 20	中層水田跡杭列 (南から)
図版 21	1. 下層水田跡全景 (北東から)
	2. 下層水田跡全景 (南西から)
図版 22	1. 下層水田跡北側 (南東から)
	2. 下層水田跡南側 (南東から)
図版 23	1. I 層出土遺物 (第 12 図)
	2. I 層出土遺物 (第 12 図)
図版 24	1. I 層出土遺物 (第 13 図)
	2. I 層出土遺物 (第 13 図)
図版 25	1. II 層出土遺物 (第 14 図)
	2. II、III、IV 層出土遺物 (第 14、17、18 図)
図版 26	1. III、IV 層出土遺物 (第 17、18 図)
	2. III 層出土遺物 (第 17 図)
図版 27	1. V 層出土遺物 (第 20 図)
	2. V、VI 層出土遺物 (第 20、21 図)
図版 28	1. V、VI 層出土遺物 (第 21 図)